



SII

学校だより

小豆沢学びのエリア《志村二小・志村四小・志村二中》



校訓：まじめ

令和6年7月1日

校長 山口 敦

No. 5

「なぜSNSを使うのか」

校長 山口 敦

先月、何となく電車内のポスターを眺めていたら、ある大学のポスターが目にとまりました。「高校生向けのライブ講座」という文字と、10個のタイトルが書かれていました。よく見てみると、30分のオンデマンド講義で誰でも参加OK、しかも費用がかからないというのも気になった原因です。次の休みの日に、インターネットで検索し、下の講義を視聴しました。

「なぜ私たちはSNSに惹かれるのか？」

～心のメカニズムと対人関係を考える～

皆さんは、SNSのどんなところに魅力や面白さを感じますか。逆に、わずらわしさを感じたり、ほかの人の投稿を見て落ち込んだりすることはありますか。この講義では、インターネットを通じたコミュニケーションにまつわる様々な現象や、SNSとうまく付き合っていくために大切なことについて、研究結果をもとに解説します。

これは「社会心理学」という、社会的な対象——集団や社会、個人、モノ、自分自身、メディアが伝えるイメージなど——を認識していく際の心のメカニズムを扱う学問の一例です。社会心理学を学ぶことで、世の中で起きていることの一因が「人間の心のクセ」にあると気付いたり、「普遍的な対人関係」のあり方を知ることができたり。さらに、心が軽くなって前向きになれる、そんな効果もあるかもしれませんよ。

■2種類のコミュニケーション

心理学的には、コミュニケーションには間接的なコミュニケーションと直接的なコミュニケーションの2種類があります。間接的なコミュニケーションとは、メディアを通じたもので、手紙や電話、SNS等です。直接的なコミュニケーションとは、通常の対面によるものです。人によっては、間接的なコミュニケーションがより話しやすいと感じるようです。

それは、自分の発言内容を意図的にコントロールできるからです。表情や声の感じ・トーン、仕草など非言語的な手がかりが相手に伝達されず、自分の態度や本音に気を配らずに済みます。対面だとうまく言葉にできない人でも話がしやすくなります。

一方、直接的コミュニケーションは、コントロールの可能性が低く、他人の視線も意識してしまいます。

■非言語的な手がかり（表情や声の感じ・トーン、仕草など）が少ないと気楽

コミュニケーションが苦手な人とは、“人に気を使うことができない人”ではなく、相手にどのように反応しようか、自分の言動や振る舞いが相手にどの

ように反応しているか、そのことに“気を取られ過ぎる人”です。その場に適したふさわしい言動や振る舞いを即座にすることが苦手な人、あるいは難しいと感じてしまう人です。

直接的コミュニケーションが苦手な人にとっては、相手の反応が分からないことが、自分を表現しやすくさせるプラスの効果があります。SNSは、他の人からの目から解放され、心理的な負担を軽くしながら他の人たちと繋がることのできる貴重なコミュニケーション方法。対面だとうまく話せない人でも、話がしやすくなる。

■SNS（LINE）疲れ

SNS、特にLINEは現代日本人の人間関係に適したコミュニケーション・ツールの一つです。しかしながら、LINE疲れに代表されるSNS疲れという現象が起きています。それは、間接的なコミュニケーションにおけるメリットの喪失と制限された空間特有のユーザー同士の親密さが関係していると言われています。

■「既読」のデメリット

LINEは、すぐに返信しないと、乗り遅れ感のあるコミュニケーションです。間接的なコミュニケーションの最大の特徴である、いつでも、どこでも、自分が好きなときに読んだり返信したりできる（非同期性）ことが失われ、同期的コミュニケーションの特徴が大きくなっています。

既読機能は、そもそも災害時の安否確認を簡単にするために導入されたものでした。しかし、既読表示がされた後にすぐに返信しないと「既読スルー」を疑われるため、すぐに返信しなければならないというプレッシャーに繋がりと、余裕がなくなってしまう。また、「未読」のままだと早く読むようにプレッシャーをかけられることもあるようです。

■「仲の良さ」のデメリット

グループの仲が良くなれば良くなるほど、独自のルールが生まれやすくなります。例えば「全員即レスをする」など、メンバーはそれに従うことを期待されます。

一端ルールが出来上がると、そのルールを守るように、グループやメンバーに対して集団圧力が発生します。そのルールを守らない場合、グループからの逸脱と見なされ、立場が危うくなります。これが深刻ないじめへと繋がるケースが多くあります。

■SNSと上手に付き合うためには

今の若い人たちにとって、SNS抜きの生活は考
(裏面へ続く)

えられないでしょう。しかし、SNSでは、自分と表面上似た人とだけの薄いコミュニケーションになりがちだと理解し、SNSだけに頼るのはやめましょう。SNS上のトモダチと現実の友達とは異なる存在です。異質な人との対面での濃いコミュニケーションをとることを意識することが大切です。

また、自分だけでなく、実は、みんなも負担に思っているかもしれません。あくまでSNSはツールだと理解し、SNSに使われるのではなく、使う側になるという気持ちをもつことも大切です。

本校では7月5日（金）にセーフティ教室を開催し、ネットトラブルの回避について学ぶ予定です。インターネットの活用方法や情報モラル、SNSの使い方については、御家庭でも話し合い、実践していただきたいと思います。学校でもセーフティ教室や「SNS東京ノート」等を活用して情報モラルについて指導しておりますが、ぜひ御家庭でもネットの危険性を教え、家庭での利用ルールを定めるなど、トラブル回避のためにお子様とよく話し合ってください。

交通安全教室



6月13日（木）、スケアードストレート方式による交通安全教室を行いました。スケアードストレートとは、恐怖を実感することでそれにつながる危険行為を未然に防ぎ、交通ルールを遵守することの大切さを体感させる教育方法です。

スタントマンによる交通事故の再現では、走行する自動車への自転車の衝突、自転車の飛び出しによる事故、大型車の内輪差による左折巻き込み事故、携帯電話使用、二人乗りなどをした自転車の事故などの場面がありました。

スタントマンによる実演を見ることにより、改めて交通事故の怖さや交通ルールを守ることの大切さを実感したことと思います。「事故を起こさない・事故に遭わない」よう、交通安全を心がけてほしいと思います。

生徒総会

6月14日（金）に生徒総会が開催されました。この日のために、計画的に、各学級での話し合い、意見や質問の提起、議案書の作成、リハーサル等、準備をしてきました。

総会では、生徒会役員と各委員会委員長からの活動方針発表がありました。各委員会の取組につ

いて、10以上の質問が出されるなど、活気に満ちた総会となりました。

生徒が力を合わせて取り組まなければならない時に、存在感を発揮できる生徒会であることを期待します。

一人一人が自分の行動に責任をもち、この志村二中を、生徒会活動で盛り上げて、より楽しく素晴らしい学校にしましょう。



活躍する志二中生！

■サッカー部

第57回板橋区総合体育大会サッカーの部
第3位

■バドミントン部

第57回板橋区総合体育大会バドミントンの部
男子ダブルス優勝 9-1 Kくん・9-Yくん
女子ダブルス第3位

9-1 Tさん・9-2 Hさん

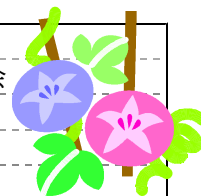
女子シングルス第3位 9-1 Kさん

男子団体 第3位

女子団体 第3位

【7月の主な予定】

7月	1	月	朝礼／安全指導
	2	火	9年普通救命講習会
	4	木	専門委員会
	5	金	セーフティ教室
	8	月	生徒朝礼
	9	火	小中合同あいさつ運動～11日
	13	土	土曜授業プラン（道徳公開）
	15	月	海の日
	16	火	避難訓練
	18	木	安全点検
	19	金	終業式
	21	日	夏季休業日始
	22	月	三者面談／学習教室～26日



体育着通学に関するお知らせ

今年度もかなりの暑さが予想されている中、生徒会と協議を重ね、儀式的行事の日を除いた、6月25日～9月30日まで体育着登校を許可しました。着方についてのルールがありますので、お子様と確認をしてください。ご理解、ご協力をお願いします。